

2050年を見据えた東洋インキグループの価値創造

当社グループは、目まぐるしく変化する経営環境に適応すべく、2027年を目標年度とする長期構想Scientific Innovation Chain 2027(SIC27)に取り組み、3カ年単位の中長期経営計画を遂行しています。SIC27では「すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界」を提供価値として当社グループが持続的に成長し、その企業活動が社会の持続可能性の向上に寄与する姿をコンセプト「サステナブルグロース」として掲げています。

それぞれの中期経営計画においては、財務目標を設定した事業活動を推進することに加えて、企業と社会のサステナビ

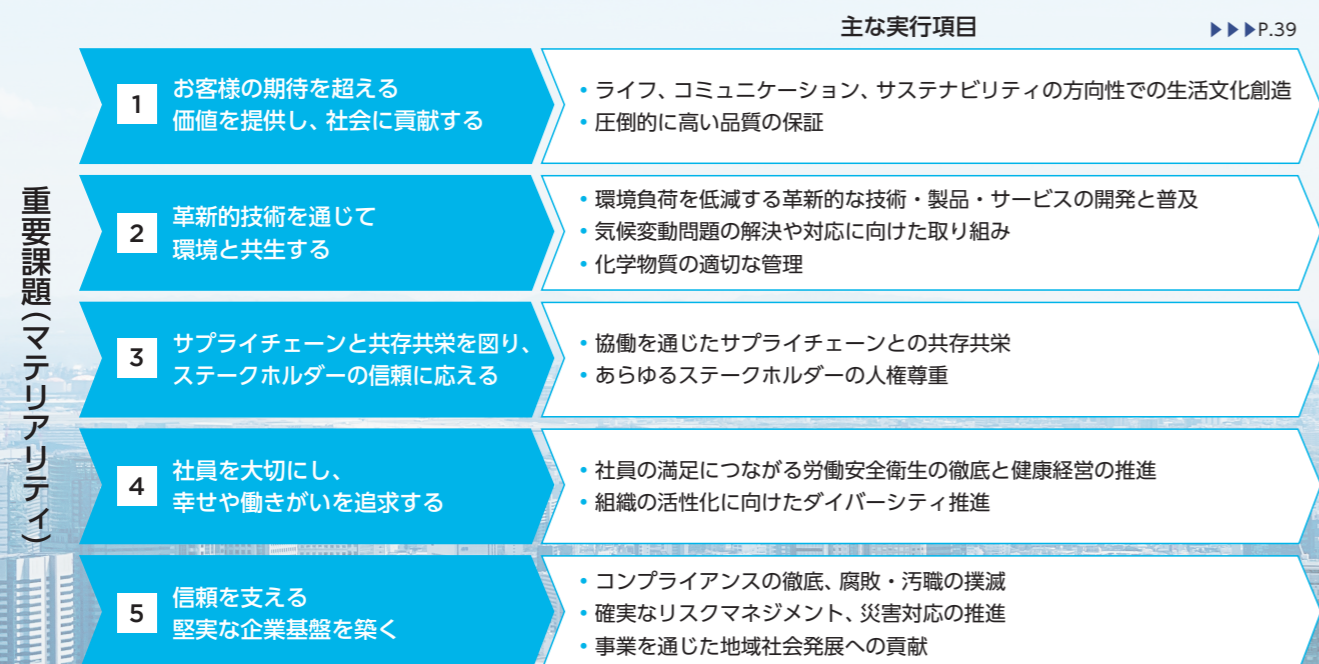
リティに関する5つの重要課題(マテリアリティ)を策定し、中期経営計画と連動したサステナビリティ活動を進めています。

さらに、近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みに関するグローバルの動向、および企業に向けられた要請が活発化する中、SIC27よりも長期的な視野での目標設定と取り組みが必要であると考え、2050年を見据えた当社グループのサステナビリティ活動の実践的な長期目標として、サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定しました。



	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(目標)
連結売上高	287,989百万円	315,927百万円	330,000百万円
連結営業利益	13,005百万円	6,865百万円	11,000百万円
営業利益率	4.5%	2.2%	3.3%
ROE	4.4%	4.3%	2.7%

※2022年度実績を受け、SIC-II期間最終年度である2023年度の目標値を修正しています。



TSV2030	TSV2050	目標年(2050年)におけるべき姿
2030年のマイルストーンでの中間目標 SDGs達成に向けた企業としての貢献を推進	2050年のあるべき姿に至る方向性 カーボンニュートラル達成など	
1. 持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供		提供する全製品・サービスがサステナビリティに貢献している
<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ貢献製品売上高構成比率 80% ライフサイクル視点でCO₂排出削減に貢献できる製品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> すべての製品をサステナビリティ貢献製品に お客様の脱炭素化に貢献 	
2. モノづくりでの環境負荷低減		モノづくりにおける環境負荷が最小化されている
<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 国内35%削減(2020年度比) 海外35%削減(2030年度BAU比) 廃棄物外部排出量 国内50%削減(2020年度比) 有害化学物質排出量 国内30%削減(2020年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動でのCO₂排出量を実質ゼロ、環境負荷を最小化 廃棄物の発生を最小化 持続可能な水利用を実現 	
3. 信頼される企業基盤の構築		社会の持続可能性向上に寄与できる企業になっている
<ul style="list-style-type: none"> 環境・社会調和な原材料調達の実現 社員の多様性の尊重、自然・地域との共生 絶え間ないガバナンス体制の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン、人材・地域活動、ガバナンスを環境・社会貢献の視点で継続的に改革・変革 	

バックキャストで
中間目標を設定

バックキャストで
方向性と目標を設定